

# 令和5年(2023)8月 入域観光客数概況(確定版)

72万8,600人  
 対前年(R4)同月比 +8万7,800人、+13.7%  
 ~8月としては復帰後7番目、対前年同月比で21ヶ月連続の増加~  
 ※(R元年度)同月比 ▲29万2,600人、▲28.7%

【更新履歴】①令和5年9月25日速報版公表

②令和5年11月27日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、11月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

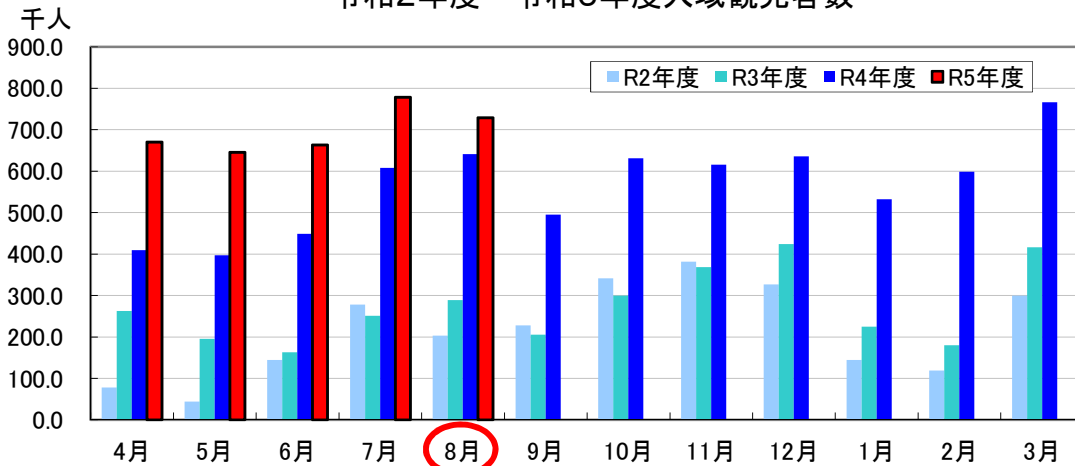
## 入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	632,200人	640,700人	△8,500人	△1.3%	86.8%
外国客	96,400人	100人人	+96,300人	+96,300.0%	13.2%
合計	728,600人	640,800人	+87,800人	+13.7%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等6,000人を含む。

令和2年度~令和5年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

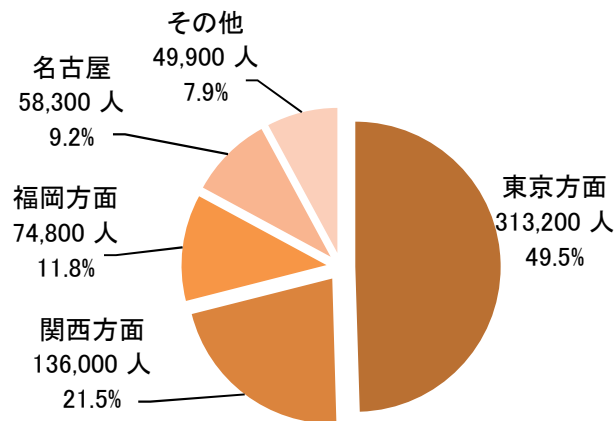
8月は、夏休み旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便・季節運航やFIBAバスケットボールワールドカップ2023沖縄開催(8/25~)等があった。一方で、8月上旬、沖縄近海に長期間留まった台風6号等による航空路線の欠航(約2,000便)があったことから、令和3年11月以来、21か月ぶりに前年同月を下回った。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	313,200 人	327,600 人	△ 14,400 人	△ 4.4%	49.5%
関西方面	136,000 人	140,600 人	△ 4,600 人	△ 3.3%	21.5%
福岡方面	74,800 人	67,700 人	+ 7,100 人	+ 10.5%	11.8%
名古屋	58,300 人	62,200 人	△ 3,900 人	△ 6.3%	9.2%
その他	49,900 人	42,600 人	+ 7,300 人	+ 17.1%	7.9%
合計	632,200 人	640,700 人	△ 8,500 人	△ 1.3%	100.0%

※国内海路客3,500人含む。

### 国内客の地域構成比



## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

8月は、夏休み旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便・季節運航等があった。一方で、沖縄近海に長期間留まった台風6号による航空路線の欠航があったことから、前年同月を下回った。

### 関西

8月は、夏休み旅行需要を見込んだ航空会社による増便等があった。一方で、沖縄近海に長期間留まった台風6号や近畿地方を横断した台風7号等による航空路線の欠航があったことから、前年同月を下回った。

### 福岡

8月は、沖縄近海に長期間留まった台風6号による航空路線の欠航があったものの、夏休み旅行需要を見込んだスカイマークの期間運航(7/14~8/31、福岡ー下地島)等により、前年同月を上回った。

### 名古屋

8月は、夏休み旅行需要を見込んだ航空会社による季節運航等があった。一方で、沖縄近海に長期間留まった台風6号や近畿地方を横断した台風7号等による航空路線の欠航があったことから、前年同月を下回った。

## 外国客 入域状況

8月は、海外の夏休み旅行需要の取込みや那覇ー台北便増便(8/15～)、那覇ークアラルンプール便(台北経由)の就航(8/16～)等により、さらなる回復が期待された。一方、8月上旬の台風による国際航空路線の欠航等で大きな影響を受けた。

9月以降は、那覇ー台北便のさらなる増便(9/24～)、那覇ーシンガポール便再開(11/30～)等航空路線の増便・再開が続くこと、中秋節・国慶節連休(9月末～10月上旬)、重陽節(10/23)の旅行需要を受け、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶【台湾】冬季シーズンに向けて、県内の温泉付ホテル宿泊や首里金城町石畳道散策などの少人数ツアーが販売され人気
  - ▶【台湾】那覇ー台北臨時便が、9月末終了を来年3月まで延長したほか、中秋節(9/29)を見込んだ石垣ー台北チャーター便で台湾発が満席と好調
  - ▶【香港】9月・10月、台風による国際航空路線の欠航があり、沖縄観光への影響が懸念される。
  - ▶【中国本土】8月、令和2年1月以来、約3年半ぶりに上海発クルーズ船が寄港し、多数の中国人観光客が来訪

## 外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	48,500人	0人	+48,500人	皆増	50.3%
韓国	20,200人	100人	+20,100人	+20100.0%	21.0%
中国本土	5,800人	0人	+5,800人	皆増	6.0%
香港	12,000人	0人	+12,000人	皆増	12.4%
アメリカ	1,100人	0人	+1,100人	皆増	1.1%
タイ	100人	0人	+100人	皆増	0.1%
シンガポール	100人	0人	+100人	皆増	0.1%
その他	8,600人	0人	+8,600人	皆増	8.9%
合計	96,400人	100人	+96,300人	+96300.0%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等6,000人を含む。

## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	30,900人	0人	皆増	43.2%	17,600人	0人	皆増	71.0%
韓国	20,200人	100人	+20100.0%	28.2%	0人	0人	—	0.0%
中国本土	4,800人	0人	皆増	6.7%	1,000人	0人	皆増	4.0%
香港	12,000人	0人	皆増	16.8%	0人	0人	—	0.0%
アメリカ	1,100人	0人	皆増	1.5%	0人	0人	—	0.0%
タイ	100人	0人	皆増	0.1%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	100人	0人	皆増	0.1%	0人	0人	—	0.0%
その他	2,400人	0人	皆増	3.4%	6,200人	0人	皆増	25.0%
合計	71,600人	100人	+71500.0%	100.0%	24,800人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等6,000人を含む。

## 外国客の地域構成比

